



ITUAJより

編集後記

見たり聞いたりしない日はないほど身近になった生成AI。パソコンでは1つクリックすれば名前を呼んで用を聞いてくれるし、頼めば調べ物やメール文の提案もしてくれます。ゲラの確認でファイルを開けば、AIアシスタントのボタンが、文書の要約や説明などのために待機しています。スマートフォンでの外国語の会話練習や、献立の相談にも活用されていると聞きます。

一方で、仕事で使ってよいのか、結果に間違いはないのか、どうすれば安全なのか、など不安や疑問もあり、この便利なものをうまく利用できるようになりたいと思います。

本号の特集では、生成AIに関する技術開発の取組みについてご紹介いただきました。

どうぞご精読ください。

ITUジャーナル読者アンケート

アンケートはこちら https://www.ituaj.jp/?page_id=793

編集委員

- 委員長 亀山 渉 早稲田大学
- 委員 成瀬 由紀 総務省 国際戦略局
- 伊藤 有希 総務省 国際戦略局
 - 谷内 正登 総務省 国際戦略局
 - 青野 海豊 総務省 総合通信基盤局
 - 小林 伸司 国立研究開発法人情報通信研究機構
 - 山本 浩司 日本電信電話株式会社
 - 中山 智美 KDDI株式会社
 - 大山 真澄 ソフトバンク株式会社
 - 薮 拓也 日本放送協会
 - 酒見 美一 通信電線線材協会
 - 長谷川一知 富士通株式会社
 - 森 正仁 ソニーグループ株式会社
 - 神保 光子 日本電気株式会社
 - 中平 佳裕 沖電気工業株式会社
 - 阿藤 友紀 一般社団法人情報通信技術委員会
 - 三木 啓嗣 一般社団法人電波産業会
 - 山崎 信 一般社団法人日本ネットワークインフォメーションセンター
- 顧問 相田 仁 東京大学
- 新 博行 株式会社NTTドコモ
 - 田中 良明 早稲田大学

編集人より

和服をもっと気軽に

一般財団法人日本ITU協会

いしだ なおこ
石田 直子



和服は洋服よりサイズの許容範囲が広いので、いつか誰かが着ることもあろうと、タンスの中に長らく眠っており、ここ10年は着て出かけることもなかった。そのような中、友人が主催する着物で神宮参拝する会に誘われ、レンタルの手軽さもあって参加を決めた。

着物と言っても、特許取得のカンタン着物で、前後の襟が広めに開いていれば洋服の上から着られるという。2月下旬だったので、寒さ対策としてはしっかりと着込み、足元は歩く距離を考えてブーツでも良いとの助言があった。

当日、普通の着物とどのように違うのか興味津々で出かけた。普通なら和装用に体型を補正し、長襦袢を着た後に着付けるところ、コートを脱いだけで、着て行った洋服の上に重ねて着ることに。上下に分かれたカンタン着物の下の部分は巻きスカート状態で丈の調整が容易である。上部は、半衿も既にセットされており、衿元を合わせることもマジックテープや紐が工夫されていて、他の小物や道具を使うことなく、普通におはしりのある着物姿になった。自分ひとりで着るときにハードルの高い帯については、帯枕、帯揚げ、帯締めなどの小物も帯と一体化してお太鼓に形作られており、あとは着る人に合わせて結んで仕上げるだけになっていた。カンタン着物と着方の説明を受けながら30分足らずで着終わることができた。

長襦袢や補正小物等が不要のため、荷物の量は従来より少なく済み、大勢の着付けをするのには便利で、先生は海外のイベントにも対応されたとのこと。何より多くの人に着物を着てほしいとの願いで、手持ちの着物をカンタン着物に仕立てる教室も主宰されているという。

和服を洋服やバッグ等に仕立て直して利用するのも魅力があるが、実際に和装で参拝、散策、ランチと出かけてみると、思いのほか華やいだ気持ちで過ごすことができた。今回足元はブーツだったが、先生によると、楽に歩くために草履のはき方にもコツがあるとのこと。

和服をより気軽に着るための工夫と、多くの人に着物を着てほしいとの先生の思いに触れ、次は、普通の着物も気軽にタンスから出して着て歩きたいものだと思っている。

ITUジャーナル

Vol.55 No.6 2025年6月1日発行/毎月1回1日発行

発行人 吉田 博史

一般財団法人日本ITU協会

〒160-0022 東京都新宿区新宿1-17-11

BN御苑ビル5階

TEL.03-5357-7610(代) FAX.03-3356-8170

編集人 宮下英一、石田直子、加藤慶子

編集協力 岩城印刷株式会社

©著作権所有 一般財団法人日本ITU協会